

習志野市の将来のまちづくりに向けてみんなで考えてみませんか？

「みんなで担う公共施設再生」

～ 公共施設の老朽化対策と市庁舎建替え ～

■基調講演

「公共施設老朽化問題への決断」

東洋大学経済学部教授

根本 祐二 氏

■パネルディスカッション

「公共施設再生に向けた取り組み」

「市庁舎のこれから」

コーディネーター 東洋大学経済学部教授

根本 祐二 氏

パネリスト 総務省自治財政局財務調査課理事官

後藤 友宏 氏

習志野市社会福祉協議会会長

海寶 嘉胤 氏

習志野市連合町会連絡協議会会長

田久保 精一 氏

元日本大学生産工学部教授

曾根 陽子 氏

神奈川大学人間科学部特任教授

南 学 氏

千葉工業大学工学部教授

山本 明 氏

※基調講演・パネルディスカッション終了後、会場との意見交換を予定しています。

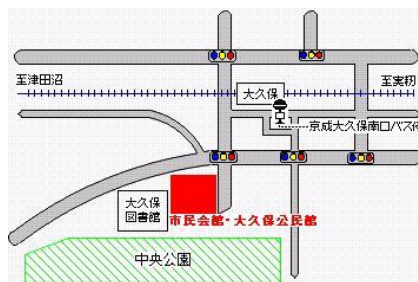
日時 **2011年11月2日（水）**

18:20～20:45 開場 18:00

会場 **市民会館** ≪京成大久保駅そば≫

入場無料（定員 400 名・先着順）

※恐れ入りますが、お車でのご来場は
ご遠慮ください。



■主催：習志野市

■お問い合わせ：経営改革推進室（エンジンルーム）

習志野市鷺沼1-1-1 TEL：047（451）1151（代表）

FAX：047（453）7368

公共施設再生に向けたシンポジウム

【シンポジウム開催の経緯と目的】

全国の地方自治体において、高度経済成長期以降に整備された公共施設（施設系、インフラ・プラント系）が、今後、次々と建築物の一般的な耐用年数である建築後 50～60 年を迎えることになります。

これらの公共施設の建替え、更新には多額の経費が必要ですが、習志野市の財政状況は、ひっ迫しており、かつ、今後の少子高齢化の進展など、社会経済状況の変化により、建替えや更新という公共施設再生のための財源確保は極めて困難な状況となっています。

習志野市では、これらの課題解決に向けて、全国でもいち早く取り組みを開始しました。

平成 20 年度には、公共施設マネジメント白書を策定し、公共施設の現状を把握することに取り組みました。23 年度には、厳しい環境に置かれている公共施設についての、今後の再生に向けた取り組み方針として、22 年度に策定された「習志野市公共施設再生計画策定に対する提言書」を受け、市としての「公共施設再生計画基本方針」の策定作業など、公共施設再生に向けて着実に歩みを進めています。

公共施設は、様々な市民サービスを提供するための拠点であり、かつ、まちづくりにおける地域の拠点としての役割も担っています。また、今回の東日本大震災を受け、災害復興・市庁舎の建て替えの問題などに関連し、公共施設再生へ向けた取り組みは、益々重要性を増しています。

まさに公共施設再生の取り組みは、市民、議会、行政のみんなが協力し、ともに知恵を出し合い進めていくことが重要です。

今回のシンポジウムは、公共施設を巡る、このような現状と今後の取り組みについて、みんなが理解し、前進することで、習志野市の将来のまちづくりに明るい展望が示せるようになることを目的として開催するものです。

【シンポジウム次第】

1. 開 会 18:20
2. 主催者あいさつ
3. 基調講演 18:30 ～ 19:10

「公共施設老朽化問題への決断」

東洋大学経済学部教授 根本 祐二 氏

【 ～ 10 分間休憩 ～ 】

4. パネルディスカッション 19:20 ～ 20:20

「公共施設再生に向けた取り組み」

「市庁舎のこれから」

5. 会場との意見交換 20:25 ～ 20:45

6. 閉 会



【根本 祐二 氏 経歴紹介】



東洋大学経済学部教授、東洋大学PPP研究センター長

1954 年鹿児島県生まれ。78 年東京大学経済学部卒業後、日本政策投資銀行入行。地域開発部、米国ブルックキングス研究所客員研究員、設備投資研究所主任研究員、地域企画部長などを経て 06 年、東洋大学経済学部教授に就任。専門は公民連携、地域再生。内閣府、国土交通省、東京都、横浜市などで公職多数。